

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

令和元年度 柳津町立会津柳津学園中学校

# 学校だより

令和元年12月20日(金)発行 第 33 号 発行責任者:高橋 弘悦

## 音楽堂に初めて歌声を届けました

7日、福島市の音楽堂で開催された「福島県声楽アンサンブルコンクール」に、本校特設合唱部が参加し、さわやかな歌声を披露してきました。

ご存じのように、福島県は全国でも指折りの合唱王国です。大会は、合唱レベルの維持・向上を目的として毎年開催されているもので、県内各地区の県大会受賞合唱部が参加する大変レベルの高い大会です。このような大会に、本校特設合唱部が果敢に挑み、好評を博しました。

特に、この大会に出場した生徒は、自ら「挑戦したい」と申し出てくれた生徒で、多忙の中、時間を生み出して練習を重ねてくれました。女声グループは、あと少しで入賞のレベルに達しています。生徒のがんばりに、心から賛辞を送りたいと思います。



### 【審査員の先生方から】

#### 柳学中A (女声13名)

- ◇のどかで優しい歌い出しがとてもよかったです。皆さんの歌は、聴き手をほっとさせてくれます。心が穏やかになります。これからもそんな歌を歌い続けてください。(82点)
- ◇柔らかで伸びのある声がステキです。音楽のピークがどこに向かっているのかをいつも考えてフレーズを歌いましょう。(80点)
- ◇テンポやリズムはよく揃っています。あとはパート同士の響きをもう少しそろえて歌い、互いに聴き合えると、更に良くなると思います。(78点)

#### 柳学中B (男声5名)

- ◇一生懸命歌う皆さんの姿は、見ていてとてもすがすがしい気持ちになります。歌の内容ともぴったりですし…。これからも歌い続けてください。(80点)
- ◇少人数ですが、互いによく聞きあって丁寧なアンサンブルができています。のどをよく開いていますね。発音する位置をもっと高く持って歌ってみましょう。(75点)
- ◇まず、男性アンサンブルに取り組んでいることに感心し、エールを送りたいと思います。一人ひとりがしっかり声を出してハーモニーを作っている姿は素晴らしいです。基礎練習(ブレス、発声など)と合わせて、ハーモニー練習もトレーニングしていきましょう。(70点)



# インフルエンザ猛威をふるう!

冬休みを目前にしてインフルエンザが猛威をふるっています。週明けの月曜日の段階で、2年生が罹患者が4名、他にも早退者が続々現れて、18日から3日間の学級閉鎖の措置を執りました。1, 3年生にもインフルエンザ様症状を呈している生徒もおり、注意が必要です。学校でも十分な予防対策をいたしますが、ご家庭でも十分注意してくださるようお願いいたします。

## 【お願い】

- (1) 学級閉鎖期間中や休日にインフルエンザ様症状で病院を受診したり、インフルエンザと診断されたりした場合は、速やかに学校または担任へご連絡ください。
- (2) 外出を控えて十分休養させ、健康管理に注意し、自宅学習に努めてさせてください。

## 段ボールアートを西山保育園に

3年生の菊地晃太朗くんが、授業の合間を利用して制作している段ボールアートを、18日西山保育園に届けました。

廃材の段ボールを利用してつくっているものですが、大変レベルが高く幼児も大変喜んでくれました。

なお、段ボールアートは、学校の玄関にも展示してあります。ぜひご覧ください。



13版S 2019年(令和元年)12月15日(日) 享月

### 県声楽アンサンブルコン

第36回県声楽アンサンブルコンテスト(県合唱連盟、朝日新聞社主催)の中学校の部が14日、福島市音楽堂で開かれた。52団体が出場し、審査の結果、11団体が金賞に選ばれた。

### 初の大舞台 刺激になった

会津柳津学園

昨年4月に開校した会津柳津学園中学校(柳津町)は初出場。男声5人と女声13人の2団体は、大舞台に緊張しながらもそれぞれの音色を生かした演奏を披露した。

特設合唱部は2年生が10人、1年生が8人。週2回、昼休みの約20分に全員で合わせ練習を続けてきた。

男声は午後のトップバッター。渡部遼君(2年)は「本番前、体中が熱くなり汗が出ました」。「足が震えた」「歌詞を忘れた」と話した男子部員もいた。

一方、女声は最後から3番目。目を真っ赤にして舞台上に立った深水葉月さん(同)は「失敗したらどうしようと不安でした」。他校の演奏を多く聞き、「とてもいい経験、刺激になりました」と話していた。

12.15 朝日新聞より